

しがらひらば

あしかが市議会だより No.371 2024年5月号



SPECIAL INTERVIEW

足利商工会議所

× 足利市議会

CONTENTS

- P4 3月定例会の審議結果
- P5 一般質問をピックアップして紹介
- P10 議員定数について考えてみよう！
- P12 第二中学校にインタビュー

今号の表紙

今号の表紙は、足利商工会議所の相馬稔会頭です。相馬会頭と本市商工業の振興や地域活性化に向けた取組などについて対談を行いました。



令和元年、足利商工会議所会頭に就任。中小・小規模事業者の経営維持・継続のための産業活動支援に取り組んでいる。

について語り合う

工会議所



議会

SPECIAL INTERVIEW

経済をけん引している足利商工会議所。のリーダーである相馬会頭と対談しました。

足利商工会議所とは

——（聞き手：横山議長）まずは足利商工会議所についてお聞かせください。

相馬会頭 商工会議所は、今年7月に発行される1万円札の肖像となる渋沢栄一翁が明治11年に設立した東京商法会議所がその源流です。業種、業態、規模の大小を問わず、地区内のすべての商工業者の利益を図るとともに、社会福祉の増進に資することを目的に、現在515の商工会議所が全国で活動しています。足利商工会議所も昭和15年に設立され、先人の努力で80年余の歴史を刻み、本市の商工業の発展に寄与してきたと自負しています。

物価高騰の影響について

——現在、資源価格の上昇などによる物価高騰が市民生活や事業活動に大きな影響を及ぼしています。本市

議会においても、昨年度に臨時会を開催するなどして、物価高騰対策を盛り込んだ補正予算を成立させてきましたが、本市経済界における物価高騰の影響をお聞かせください。

相馬会頭 円安に伴う電気料金をはじめとする光熱水費や原材料費の高騰、恒常的な人手不足に対応するための賃上げの要請など、中小企業の経営は非常に厳しいものがあります。商工会議所では「パートナーシップ構築宣言」を推進し、円滑な価格転嫁交渉のためのセミナーを開催するなど、様々な働きかけや機運の醸成を図っています。



令和5年8月5日に開催された第107回足利花火大会。創始120年を迎えた歴史と伝統のある花火大会です。花火大会当日は45万人の観覧客が来場し、にぎわいを見せました。

私たちの「足利市」

特集 足利商

足利市

商工業の振興・発展を支援し、本市の
今回のしぎかいひろばでは、足利商工会議所

地域活性化に向けて

— 今後の地域活性化に対する取り組みや考えをお聞かせください。

— まちのにぎわい創出や観光の推進のために様々な事業を実施されていますが、特に足利花火大会は関東でも有数の花火大会です。第107回大会は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、4年ぶりに従来どおりの開催となりましたが、工夫された点がありますか。

相馬会頭 地域でお金が回る仕組みを作っていくことが大切だと考えています。商工会議所では足利ブランドを認定したり、まちの商店主が講師となる「まちゼミ」を開催したりしています。今年度は異業種交流会を実施し、地域の産業力向上を図ります。市民の皆様も地域での買い物的心がけていただけると幸いです。

足利市議会に対して

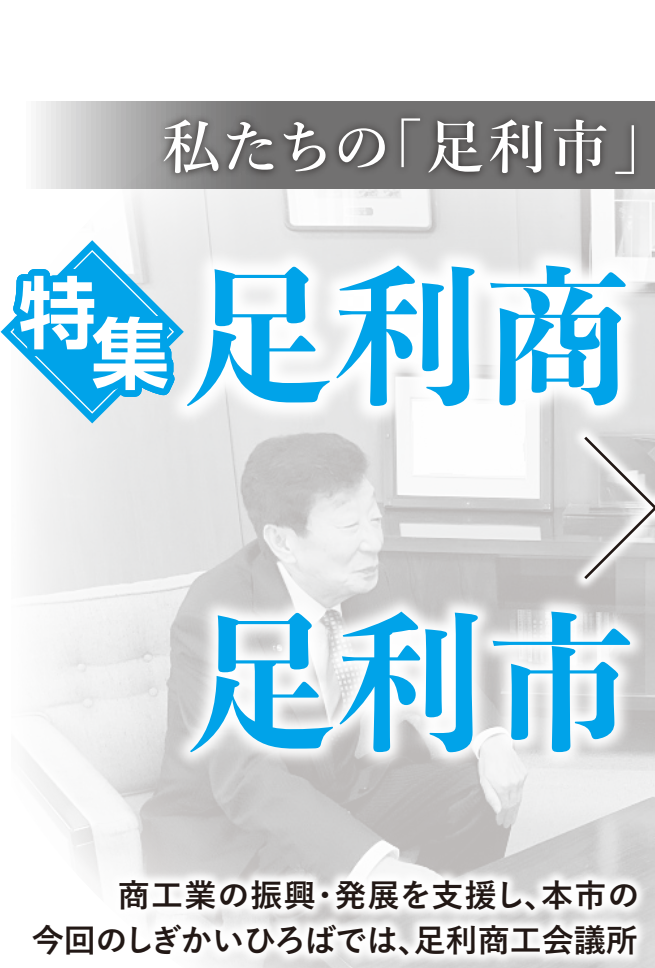
— 最後に、足利市議会に期待することはありますか。

相馬会頭 「花火大会」の日は1年で足利が一番にぎわう日です。当日はお客様に事故なく楽しんでいただくため、警察、消防、鉄道、警備、ボランティアなど6000人を超える方が裏方として大会運営を支えています。特に、翌朝の会場清掃ボランティア活動は足利花火大会の最も誇れる活動であると思っています。また、大会の経費を生み出すため、スポンサー企業のほかにも一般からの寄付を募ったり、有料観覧席を増設したり、持続可能な花火大会とするため、様々な工夫をしています。

相馬会頭 市内中学校で「議会を知らう！中学校出張ぎかい」を実施したり、議会広報紙を毎年進化させたり、たゆまない活動をしている足利市議会に心から敬意を表します。最も市民の近くにいる市議会議員が引き続き市民や次世代のために、活躍されることを期待しています。

足利市議会

横山 育男 議長



こんな結果になりました！

令和6年第1回定例会は2月27日から3月26日までの29日間開催しました。提出された議案など合わせて43件について、慎重に審議しました。



会議結果



審議結果



録画配信



議案

市長から提出された議案等 41件

議員から提出された議案等 2件

注目議案を PICK UP!

総務企画防災 常任委員会

PickUp 1

議案第3号
工事請負契約の
変更について

令和2年12月定例会において議決された、(仮称)足利市新斎場火葬炉設備設置工事の工事請負契約の契約金額を変更することについて審議を行い、原案のとおり可決されました。

Q 金額が上がることは市民負担になる。インフレスライド条項を適用する際、便乗値上げではないように、例えば鉄の価格がいくらか上がったといった根拠を確認しているのか。

A 今回は火葬炉設備の設置工事であり、特殊な設備であることから、まず市職員が金額を精査した上で、さらに火葬炉に詳しい一般社団法人に金額上昇の妥当性を確認し、問題ないという判断を受けている。

民生環境水道 常任委員会

PickUp 2

議案第11号
足利市介護保険条例
の改正について

令和6年度から令和8年度までの介護給付費の見込みに対して、介護給付費準備基金からの繰入れ等を勘案した介護保険料に改定するための条例改正について審議を行い、原案のとおり可決されました。

Q 介護給付費準備基金を取り崩して介護保険料を下げるということであるが、取り崩す金額の予定と、取り崩しにより介護保険料がどの程度下がるのか聞きたい。

A 6億5000万円円の取り崩しを予定しており、これにより標準保険料である第5段階で、年額4900円の介護保険料が下がることになる。

教育経済建設 常任委員会

PickUp 3

議案第24号
令和5年度足利市
(仮称)あがた駅北
産業団地開発事業
特別会計補正予算
(第1号)について

産業団地開発事業費の一部の工事が、年度内に完成しない見込みであることから、繰越明許費を設定することについて審議を行い、原案のとおり可決されました。

Q あがた駅北産業団地の問い合わせの状況について教えてください。

A 令和2年4月から令和4年8月までで計76・8ヘクタール分の引き合いが38件あった。引き合いのあった企業に足利市へ立地していただけるよう、現在、あがた駅北産業団地や久保田町地内の産業団地造成を進めている。

広報広聴 常任委員会

主な調査報告について

①記者懇談会の実施
報道機関を通じて議会の活動状況を市民に知っていただくため、記者との懇談会を実施しました。

②議会広報紙の発行

第370号では、令和5年第5回市議会定例会の審議結果をお知らせするとともに、特集ページでは新たに対談記事を新設し、第1回目として足利みらい応援大使の堀優衣さんに登場いただきました。また、裏表紙では、市内の中学校をリレー形式で紹介する連載記事を開始し、第一中学校の皆さんを紹介しました。

③しぎかい広場2024の開催

新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、3年ぶりに自由参加形式の議会報告会・意見交換会を開催しました。「しぎかい広場2024」と題し、公共施設の建て替えや中橋の架け替え、議員定数の適正化など多くの市民に関心を持ってもらえるようなテーマ設定に加え、買い物ついでに気軽に参加できるようにコマファースト1階コム広場(アピタ足利店)を会場としたことにより、多くの皆さんと議論を交わすことができました。

こんなことを聞きました！

市政を問う一般質問を開催 市民の思いを胸に、12名が登壇

各議員がさまざまな視点からまちの課題などに対する考えを聞く一般質問。ここでは質問の内容をダイジェストでお伝えします。二次元コードから録画配信をご覧ください。

議員	会派名	録画配信
	氏名	
質問	議員の質問	
回答	市長などの回答	
ひと言	質問に込めた思いなど	



あしかが自民党議員会
なかじま まゆみ
中島 真弓



投票環境を改善し、 投票率の維持向上へ！

質問

選挙権を有する市民の中には、障がいなどにより、その権利を行使できない方がいるが、そのような方々に対し、本市ではどのような支援を行っているのか。また、直接的な投票支援につながる選挙支援カードの導入について所見を聞きたい。

回答

投票所には、車椅子で利用できる記載台を設置するとともに、点字での投票や補助者による代理投票にも対応しており、その周知を図っている。選挙支援カードの導入は、投票に困難を抱える方々の戸惑いや不安をやわらげ、投票しやすさにつながるため、前向きに検討していく。

ひと言

様々な状況にある方々の投票機会の確保に向け、投票所の再編などの一層の努力を期待します！



自民プラス
さいとう まさゆき
齋藤 昌之



産業系用地開発について問う！

質問

本市では現在、複数の産業団地を造成、計画しているが、企業進出の需要に応じきれっていない状況である。近隣市では、地域未来投資促進法を活用した民間事業者主体の産業系用地開発が表明されており、本市も積極的に取り組むべきかと考えるがどうか。

回答

地域未来投資促進法を活用した産業系用地の確保については、これまでも先進事例を調査するなど積極的に取り組んでいる。現在、国道50号沿線の里矢場町と南大町にかかる地域について、民間開発を誘導する「重点促進区域」に位置づけるため、国や県と協議を進めている。

ひと言

産業系用地の確保は、足利市の経済基盤づくりに重要です。



織姫クラブ

おにくぼ あやこ
鬼久保 綾子



足利市にある歴史的建築物をもっと活用しよう！

質問

歴史と文化のまちである本市には、歴史的価値のある建築物がまだまだ多く存在している。本市の魅力向上や活性化のためには、こうした歴史的建築物を最大限活用することが重要であり、活用に向けた条例整備が必要と考えるが所見を聞きたい。

回答

既存建築物の増改築や用途変更には、建築基準法の現行基準に適合させることが必要であるが、歴史的建築物を適合させることは難しいとされている。建築物によっては建築基準法の適用除外ができる可能性があるため、歴史的建築物の活用に向けて条例整備等さまざまな方法を検討していく。

ひと言

民間の皆さまも一緒になって歴史と文化のまち足利を盛り上げていきましょう！



公明党議員会

ふじもと ひでき
藤本 秀樹



子育てしたいまちづくりに向けて保育環境を整備せよ！

質問

令和6年度から本市で試行的に実施されるこども誰でも通園制度は、保護者の就労の有無にかかわらず、保育所などに子どもを預けることができる制度であるが、対象となる未就園児数を聞きたい。また、何人程度の受け入れを計画しているのか。

回答

制度の対象となる0歳6か月から2歳までの未就園児の人数は、令和5年5月1日現在で約1,000人である。受け入れを計画している園児数については、1人当たり1日8時間の利用を想定して試算すると、試行事業の実施期間中で延べ900人程度である。

ひと言

子どもが誰でも健やかに成長できる環境整備に期待します。



公明党議員会

いしの じゅんこ
石野 純子



ドッグランの設置について問う！

質問

ドッグランは飼い主とペットとのコミュニケーションの場や飼い主同士の交流の場になるとともに、地域活性化にも効果が期待できると考える。公園などの市有施設にドッグランを設置できないか。

回答

既存の公園の一部にドッグランを設置する場合、一般の公園利用者の使用が制限されることやドッグラン利用者のさらなるマナー向上が求められるなど多くの課題があり、設置は困難である。ドッグランは、全国的に民設・民営がほとんどであるが、必要性などについて調査研究していく。

ひと言

広い世代の利用や、市外県外の訪問客が増えることで地域経済が活性化することを期待します。



公明党議員会

いと や みちよ
糸谷 道代



1か月児・5歳児健康診査を実施により子育て支援の拡充を！

質問

子育て支援の中でも、特に出産後から就学前までの切れ目のない健診体制が重要と考える。さらにきめ細やかな健診体制とするため、1か月児健康診査や5歳児健康診査の実施が必要と考えるが、現状を聞きたい。

回答

国は令和5年12月に、出産後から就学前まで切れ目のない健康診査の実施体制の整備に向けた概要を公表し、1か月児と5歳児の健康診査を実施することとした。本市でも子育て環境のさらなる充実を図るため、令和6年度から新たに1か月児と5歳児を対象とした健康診査を実施する。

ひと言

安心して子どもを産み健やかに育てるためにも切れ目のない連続した健康診査が必要です。



会派を構成しない議員

お ぜ き え い こ
尾 関 栄 子



介護給付費準備基金を使って 介護保険料の引き下げの努力を！

質
問

ゴールドプラン 21 第 9 期計画における介護保険料算定に当たり、現在約 11 億円ある介護給付費準備基金から 6 億 5,000 万円を取り崩すとのことであるが、同基金は約 5 億円残ることになる。介護保険料を引き下げるために基金を最大限活用しているといえるのか。

回
答

介護給付費準備基金は、保険料率の算定の基礎となった介護給付費の見込みを上回る給付費の増加に備えるために設けられているものである。介護給付費に充てる介護保険料に不足が生じた場合は、必要額を基金から取り崩して財源を補填することから、基金全てを取り崩すことは困難である。

ひ
と
言

計画のたびに介護保険料が引き上げられてきました。これ以上の負担は限界です。



自民プラス

す え よ し と し ひ ろ
末 吉 利 啓



子どもたちを最優先に考えた 部活動地域移行を目指して！

質
問

国は、学校部活動を地域の文化・スポーツ団体などに移行し、少子化の中でも部活動を継続できるよう環境整備を進めているが、こうした部活動の地域移行には、複雑な課題が山積している。本市においても推進体制の強化が必要と考えるがどうか。

回
答

課題解決のためには、関係各課が連携を深め、協力していくことはもとより、各種団体や地域、保護者など多くの方々の理解や協力が必要である。本市の中学生が生涯にわたってスポーツや文化芸術活動に親しむことができるよう、多くの方々の力を借りながら地域移行を目指していきたい。

ひ
と
言

部活動の地域移行は、中学生のスポーツ・文化活動をアップデートできるチャンスになり得ます。



会派を構成しない議員

と り い や す こ
鳥 井 康 子



家屋の耐震診断・ 改修助成について問う！

質
問

家屋の所有者が費用負担することなく耐震診断を受けられる制度が令和 4 年度に栃木県から提示されたとのことであるが、この制度は診断費用が全額補助金として交付される制度なのか。

回
答

これまでは耐震診断を希望する方が耐震診断士と契約して費用を払った後、市が費用の一部を補助金として交付してきたが、令和 6 年度からは市が直接診断士を派遣して耐震診断を行うことを想定している。市への申請のみで耐震診断ができるため、費用面だけでなく手続き上の負担も減らすことができると考えている。

ひ
と
言

耐震診断と改修に関する情報は多くの市民に知っていただく必要があると考えます。



自民プラス

つ る が い だ い す け
鶴 貝 大 祐



水道事業の戦略的経営について 問う！

質
問

水道事業は、人口減少に伴う収入の減少や、管路の老朽化による漏水の増加など深刻な課題に直面している。本市水道サービスが将来にわたり安全・安心な水を供給していくためには、戦略的な経営改革が必要と考えるが今後のビジョンを聞きたい。

回
答

課題の解決のため、AI を活用した漏水リスクの調査、スマートメーターの導入といった最新技術の導入や、職員のコスト意識の醸成など水道事業改革に着手している。今後も持続可能な水道サービスを確立するため、時代の変化や将来に向けた課題を的確に把握し、効率的・効果的な経営を推進していく。

ひ
と
言

災害に強く安心安全な水を安定的に供給するため、あらゆる可能性を探りながら課題解決に臨んで欲しいと思います。



自民プラス

おぎ わら ひさ お
荻原 久雄



Web3時代の 都市経営について問う!

質
問

足利市のプロモーションや発展のために民間事業者が取り組んでいる「足利みらいVtuberプロジェクト」について、行政サービスの質や効率を向上させるためにも、同事業に協力する体制を整えるべきではないか。

回
答

本市では、これまでLINEやXなどのSNSをプロモーションに活用してきたが、一部の自治体では、新たにVtuberの活用などに取り組んでいると聞く。市民サービスの質と効率の向上につながる新技術の導入については、民間事業との協力体制を含めて、先進自治体の事例等を研究していく。

ひ
と
言

本市でも若い世代が中心となって取り組んでいるVtuberへの支援を行うべきです。



自民プラス

やま もと ひと み
山本 仁美



地元企業との連携で子どもたちに 夢と希望を!

質
問

若者世代の人口流失を食い止めるためには、地元企業が学校に Outreach、最先端技術等を紹介することが有効と考える。これにより若者の職業観が広がり、地元企業を将来の就職先の選択肢として意識してもらうことにつながると思うが、本市の取組を聞きたい。

回
答

令和5年度は、市内IT企業が小中学生を対象に「5G体験会」や「オープン・カンパニー」を開催し、AIロボットを使ったプログラミングやバーチャル空間の体験などを行った。今後も企業の協力を得ながら、子どもたちが魅力ある市内企業と触れ合える機会を創出できるよう研究していく。

ひ
と
言

子どもたちにワクワクする未来を描いてもらうためには、大人のやる気と笑顔が必要です!

PICK UP 令和6年度予算を議決しました!

市長から提案された令和6年度予算案を審査するため、議員全員で構成する予算審査特別委員会を設置し、3月21日から22日の2日間にわたって審査しました。令和6年度当初予算関連議案9件について、議員と執行部との間で約800件のやり取りが行われ、慎重かつ丁寧に審査した結果、3月26日に行われた本会議（最終日）で、全ての令和6年度当初予算関連議案が議決されました。



質疑の時間は、議会費や総務費、土木費などの款ごとに1人5分。市長をはじめとした委員会説明員が、議員からの質疑に答えます。

令和6年度当初
予算はコチラ



PICK UP 令和6年能登半島地震に際して

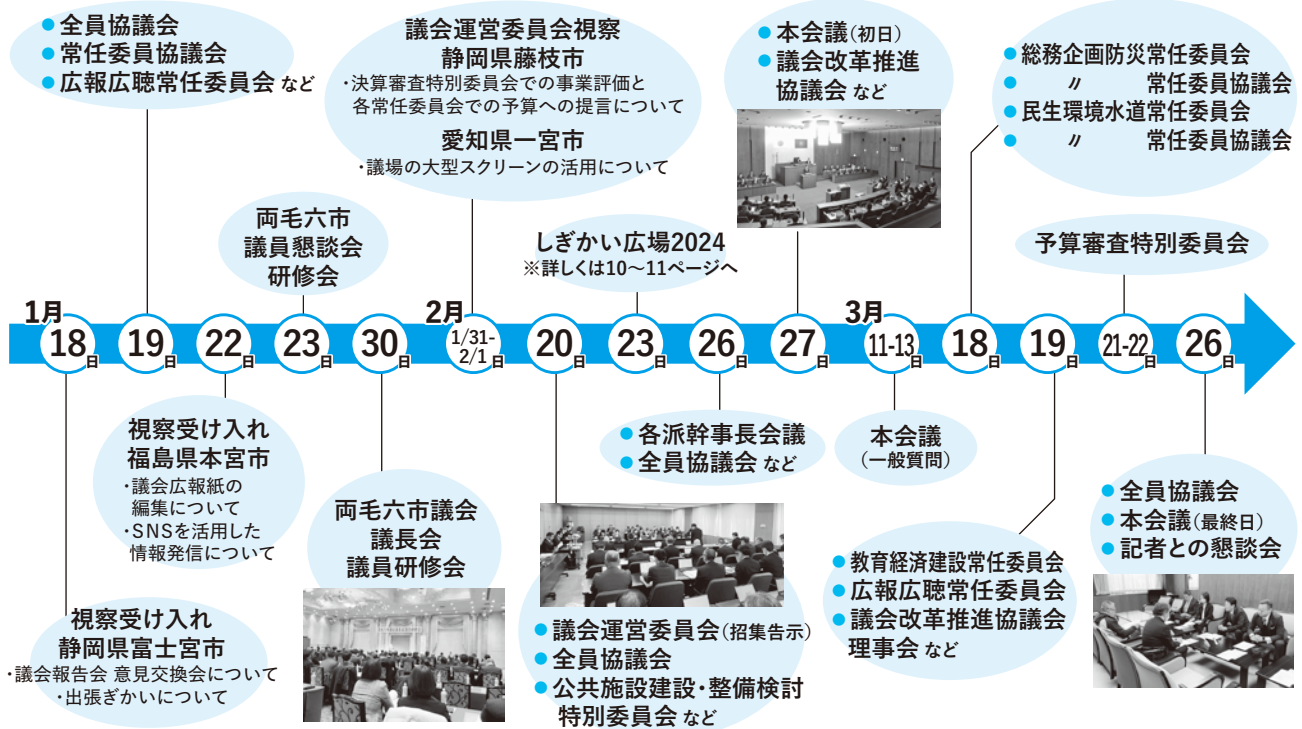
1月1日に発生した、令和6年能登半島地震により亡くなられた全ての方々のご冥福を祈り、黙とうをささげました。また、被災地における復旧、復興に役立てていただくため、義援金を送金いたしました。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。



6月 定例会のご案内

5月28日(火)	本会議 (初日)
6月 6日(木)	本会議 (一般質問)
7日(金)	本会議 (一般質問)
10日(月)	本会議 (一般質問)
11日(火)	総務企画防災常任委員会
12日(水)	民生環境水道常任委員会
13日(木)	教育経済建設常任委員会 広報広聴常任委員会
21日(金)	本会議 (最終日)

PICK UP 年4回の定例会のほかにもこんな活動を行っています!(12月定例会～3月定例会)



※紙面の都合上、主な活動のみを紹介しています。このほかにもさまざまな活動を行っています。

PICK UP 「議会を知ろう!～中学校出張ぎかい～」報告書を提出しました!

令和5年11月から12月にかけて、足利市の未来を担う子どもたちに地方議会や政治について興味を持ってもらうために、中学3年生を対象に議員自らが講師としてワークショップ形式で足利市のまちづくりを考えてもらう「議会を知ろう!～中学校出張ぎかい～」を7校の中学校で実施しました。今回いただいた意見を実施報告書として取りまとめ、議長から市長および教育長に提出しました。



▲市長に提出



▲教育長に提出

実施報告書は
コチラ



皆さんからいただいた貴重な意見は、今後の議会活動に生かしていきます!

PICK UP 委員会視察を行いました!

1月31日から2月1日の2日間にわたって、議会運営委員会が先進地視察を行いました。

【静岡県藤枝市】

決算審査特別委員会での事業評価と各常任委員会での予算への提言について



【愛知県一宮市】

議場の大型スクリーンの活用について



PICK UP 他議会の視察を受け入れました!

本市議会が積極的に取り組んでいる広報広聴事業の視察に、下記の2市が来訪されました。

【静岡県富士宮市】

● 議会報告会・意見交換会について
● 出張ぎかいについて



【福島県本宮市】

● 議会広報紙の編集について
● SNSを活用した情報発信について



議員定数 なり手不足

考えてみよう!

例についてご紹介しました。
「しぎかい広場2024」を開催し、
お聞きしました。

Vol. 3

Vol.1、2は
コチラ



Vol.1

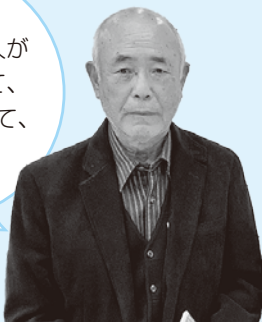


Vol.2

議員定数と議会報告会・意見交換会

今回の議会報告会・意見交換会「しぎかい広場2024」では、公共施設の建て替えや中橋の架け替えについての議会報告の後、廣瀬和彦先生による議員定数の解説動画を視聴し、「議員定数の適正化・なり手不足解消策」をテーマとして、市民の皆さんと議員が意見交換をしました。これまでの「しぎかいひろば」の特集ページを資料として議論を行う中で、様々なご意見をいただくことができました。

買い物に来た人が
ふらっと寄って、
聞くことができ、
よかった。



石川さん

みんなが関心のある
テーマでよかった。
真剣な意見交換を
することができた。



石原さん

参加した
皆さんから
ご意見を
いただきました!

定数を
削減する代わりに
報酬などを上げて、
少数精鋭で
しっかりとした仕事
をしてほしい。



鈴木さん

いろいろな意見が
あって参考になり
有意義だった。



稲田さん

数を減らせばいい
というものではないが、
増やしてもしょうがない。
足利市が発展する
ことが大事。



蛭田さん

次の議会報告会・意見交換会は

- 山辺中学校区：矢場川公民館 [5月16日(木)]
- 愛宕台中学校区：筑波公民館 [5月20日(月)]
- 坂西中学校区：三和公民館 [5月23日(木)]

※開催する中学校区以外にお住まいの方も参加いただけます。
詳細は決まり次第ホームページ等で発信していきます!

詳細はコチラ



7～8月は第一中、第二中、
第三中、北中の各中学校区。
令和7年1～2月は協和中、
毛野中、富田中、西中の各
中学校区での開催を予定し
ています。



密着！

あしかがしぎかい

議員定数について

前号・前々号では、議員定数の考え方や算出方法のそれらを踏まえ、市議会では、議会報告会・意見交換会
市民の皆さんから議員定数等について直接ご意見を

議会報告会・意見交換会

しぎかい広場2024



しぎかい広場2024とは？

平成25年から公民館などで議会報告会・意見交換会を開催し、議会活動や市政に関する情報をお伝えするとともに、市民の皆さんの声をお聞きしてきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、対面での開催が難しい時期がありましたが、5類移行に伴い、2月23日金曜日（祝）にコムファースト1階コム広場（アピタ足利店）で「しぎかい広場2024」として開催しました。今回を皮切りに、今後、本格的に議会報告会・意見交換会を再開していきますので、皆さんの参加をお待ちしています。



ぎかいにとどけ！
わたしたちのこえ

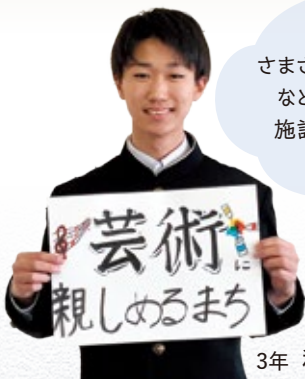
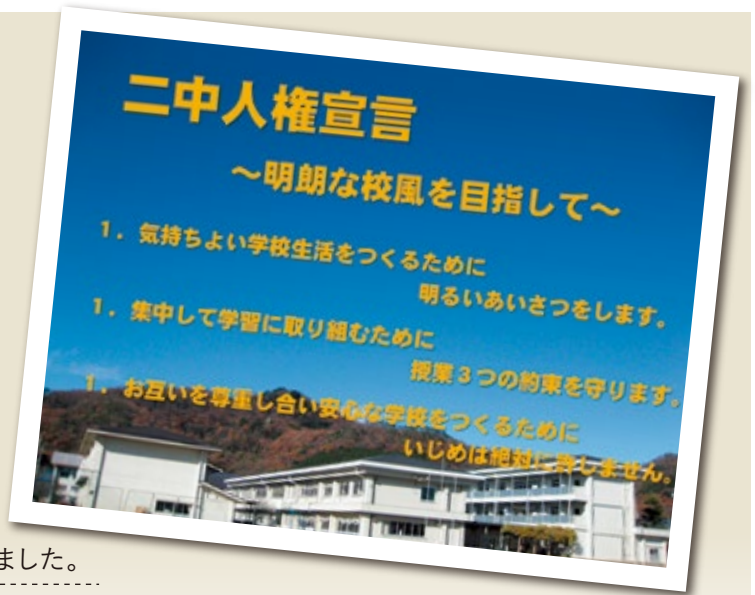
今回ご紹介するのは

第二中学校

平成24年12月、生徒会本部を中心に

生徒自らの発案により「二中人権宣言」を採択しました。

人権集会や生徒集会を通じて意識を高め、「明朗な校風」を目指して頑張っています。



さまざまな芸術、音楽
などを体験できる
施設を利用したい
からです！

3年 和久井さん



住みやすい町になって、
たくさんの人でにぎわって
ほしいからです！

3年 西村さん



笑顔が多くなると、
たくさんの人が
幸せになると
思ったからです！

2年 高島さん



渡良瀬川や山を
大切にできたらいいな
と思うからです！

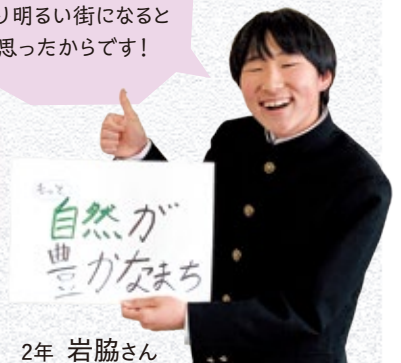
2年 片山さん

生徒会執行役員の
皆さんに聞きました

こんなまちに なったらいいな

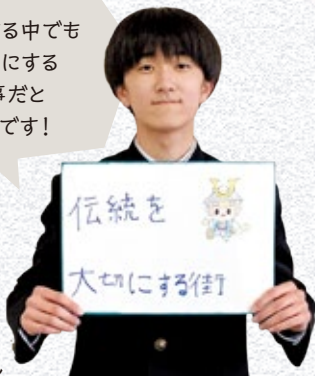
～足利市の未来について～

街に緑がもっと増えたら
より明るい街になると
思ったからです！



2年 岩脇さん

街が活性化する中でも
伝統を大切にする
ことが大事だと
思ったからです！



3年 村松さん



新・誓いのバッチ「GUTS」

二中学生、誰もが
たのしく生活を送るための
思いが込められています。
G:挨拶、U:協力、T:感謝、S:笑顔
を示します。

国際交流を増やすことで
お互いの国や文化について
知る貴重な機会になると
思うからです！



3年 長さん